

岡山県合唱連盟機関紙
トウッティ 第12号

発行責任者：岡山県合唱連盟
事務局長 内田 毅
事務局：岡山市福泊168-7
TEL/FAX (086) 274-2726

Tutti

権威 威心

岡山県合唱連盟副理事長
片山 康雄



本日(十一月十日)郵便局で年賀はがきを買いました。月日の経つのは早いもので・・・もうこんな時期になったのかなあ・・・とつくづく思います。私共の合唱団の定期演奏会も去る十一月三日に終わり、ほっとする余裕もなく学校行事や第九の練習、コンサートもいっばい・・・と容赦なく日々は過ぎて行きます。もう少し余裕をもって人生を過ごせないものか・・・と思います。岡山県合唱連盟の行事も昨年の全日本合唱コンクール全国大会に引き続き今年も中国大会も無事終了し、年内の行事もあと理事会を一回残すのみとなり、連盟の皆さんのご協力で何事もスムーズに運営できましたことを大変感謝し、厚く御礼申し上げます。個人的で恐縮ですが、今年を振り返ってみると、私にとって本当に試練の年でした。去る五月に声帯の手術をして以来、頭の中では歌えても実際に声が出なくてつらい毎日でした。気が休まらずにと親切な皆さんは元気づけて下さいます。「あれをすれば声帯に良いそうなの・・・」と聞けばすぐそれをし、「これを飲むと声帯に良いそうなの・・・」と言われればすぐこ

れを飲むし、もうなりふり構わず努力、実行してみました。が、私の忙しい身にはごりやくはありませんでした。最近、少しづつ回復してきたように思いますが、まだ手術前の半分位です。でも夏頃に比べると随分良くなり希望もわいて来ました。この年令になるまで酷使してきたお返しできたのだなど反省しています。合唱連盟の皆さん！声は大切にして下さい。皆さんの素晴らしい歌声がいつまでも歌い継がれていくことを祈らずにはられません。今年も終わりに近づきつつありますが、連盟の皆さんが協力し合って「美しいハーモニーの追及と楽しい合唱活動が出来ること」を常々考えている私です。

近藤理事 専任

表彰さるる！

岡山県教育関係功労者として

我が合唱連盟理事長 近藤安介氏はこの度、県下の教育や文化、スポーツなどの振興に貢献した個人・団体に贈られる、本年度の県教育関係功労者に決まり、去る十一月二日岡山武道館に於て表彰を受けられました。心よりお慶び申し上げます。今後とも未熟な私たちのためにより、願うご指導をお願いいたします。(M)

車事故同日から

十月に当県連他の主催で開催された第三十一回中国合唱コンクールはおかげさまで無事に終了しました。連盟委員の皆様には、広告獲得・チ

ケット販売・運営にと多大な御協力をいただき有難うございました。会計収支も多少赤字が出るかな、という様子です。確定してないのは、皆さんにお願いしたチケットノルマがまだ完全に精算されていないためです。未精算の団体が7団体あります。内訳は大学1、一般5、おかあさん1です。会計の坂本氏から請求がされていると思えますので、是非精算して下さい。七月に加盟された高校生ばかりの総社東中OB合唱団や、少年少女の団体までもが協力してくれているのに、大人の団体が協力できないのは恥ずかしいですよ。どうぞよろしく。すべて精算していただければ少し赤字になります。

問い合わせは事務局まで。
振込先は郵便振替で
岡山2-9160
岡山県合唱連盟

ところで、病気のため手術され、その後入院されていた「いずみの森合唱団」の柴田公平先生がお元気になられ、仕事に復帰されたそうです。おめでとうございます。どうぞ御無理をなさらずご自愛下さい。今年片山先生も手術をなさいましたし、ドキッとすることが多かったですね。来年は皆さん元気で活動したいものです。酒・タバコを控え、適度に運動して健康を維持しましょう。さて、コンサート情報でお知らせしたように、これから来年一月にかけて各団の演奏会が毎週のようにあります。時間の許すかぎり聴かせていただきます。あと三週間、今年も暮れます。それでは良いお年を(少し早いか)。

事務局長 内田 毅

(特集)

中国コンクール に参加して

ノートルダム清心女子大学
グリーククラブ

こんにちは。私たちはノートルダム清心女子大学グリーククラブです。今回で全日本合唱コンクール参加も三年目となり、昨年に引き続き中国大会において銀賞を頂くことが出来ました。

九十年に久しぶりにコンクールに参加しましたが、そのきっかけを与えてくださったのは我が団の顧問、近藤安介先生でした。この年、七月には大阪でのジョイントコンサート、十二月には第二十七回定期演奏会と多くのステージを持ちました。

このため八月には延べ二週間の合宿を行なうなど練習量が大幅に増えました。このようなクラブの活動に新入部員は馴染めず、約半数が退部して行きました。私たちに「クラブとは何か」と大きな疑問を投げ掛けた一年でした。

このような思考錯誤の中、翌九十年もコンクールに参加することにしました。前年の反省を生かし、前期はコンクールに重点を置いた練習をしました。この年、確かな手答えがあり、技術の向上を図るにはコンクールが一番良いと確信したのです。今年、コンクールへの迷いもすっかり消え、練習にも一段と熱がこもるようになりまし。今回のコンクールを終えて、私たちはまた一歩前進したような気がします。辛く厳しく感じる練習もありましたが、それ

を乗り越える精神力も強くなりまし。また歌った後の爽快感を味わうことも出来ました。今回も中国大会の壁は厚いと感じましたが、この厚い壁に挑戦することを私たちの大きな課題としています。

「クラブは何か」という疑問を、コンクールや定期演奏会などの活動をとおして、部員一人一人が考え直しているのではないのでしょうか。

ユール・ゆうぶんげん

昨年の全国大会を聴いて刺激を受け「私たちも歌おう！」と思いついたのが約一年前。私などは、出来上がったばかりの美しい「岡山シンフォニーホール」の客席で「何時かあの舞台に立てるといいなあ」と遠い夢物語のように思っていました。

そして我がユール・ゆうぶんげんは誕生し、手探りのような状態から練習が始まりました。先ずは県大会、そしてシンフォニーホールでの中国大会を目指して歌ってきた数ヶ月でした。

その遠い夢物語が現実となった中国大会は予想した通り、各県から選ばれた代表が揃ったレベルの高いものでした。「楽しんで歌いましょう」と指揮者に何度もいわれましたが、後で思い返せばそのときそんな余裕があったかどうか……。

本番中はただ夢中でした。十数分がアツという間でした。たったこれだけの短い演奏のために練習した時間の長さを思うと、一回きりの本番でその成果を十分発揮出来なかったのは残念でした。気持ちばかりが先走って、声や響きが着いていかなかったように思います。

結果は、いろいろと反省点の多いものとなりましたが、他団体の優れた演奏を聴くことで良い勉強になったと思います。

私たちの団はまだ若く、勉強方法や声の作り方などの課題がいくつも残されています。コンクールを目指すことでそれらに取り組み、今年よりも来年、そして来年よりもまた次の年というように、一歩ずつ成長していきたいと思っています。

岡山大学グリーククラブ

我が岡山大学グリーククラブは、第三十一回中国合唱コンクール大学の部に岡山県代表として出場しました。六年前に出場して以来、諸事情のため参加をひかえておりました。しかし今回は地元岡山で中国大会が開催されることになったので、自分達の音楽を客観的に評価していただく良い機会だと思い、参加することに決定しました。

六年間コンクールから遠ざかっていたので、当然部内にコンクールの経験者はいません。そこで先輩や他団体よりコンクールの予備知識を得て練習を考え、県大会に臨みました。

県大会では幸いにも金賞をいただき、中国大会への出場権を獲得することが出来ました。「次は中国大会」と県大会での反省をもとにさらなる向上を目指して練習に励みましたが、中国大会の壁は厚く、我々にとつては非常に残念な結果となりました。

私達はコンクールに出場した事ではなく、皆さんのものを得ることが出来たと思っています。演奏に対する客観的な評価をいただいたことで、自分達の

活動を冷静に見つめ直すことが出来ました。また中国各県代表の演奏を聴き、合唱の奥の深さを改めて感じました。部にとつてもコンクールという一つの目標があったことで、部の一体感が強まり、部員一人一人の成長につながったようです。

他県の大学生と合唱をつうじての交流が図れたことも大きな収穫でした。日程終了後、各県代表の大学合唱団で交歓会を開き、最後に大学生全員で大合唱をしたときの感動を忘れることは出来ません。

たくさんの方を残してくれた中国大会。コンクールに出場し、感じたこと、学んだことを大切にして、これからも向上を目指して活動していきたいと思っています。

岡山混声合唱団

昨年、鳥根県は出雲市で開かれた中国合唱コンクールに初めて貸切バスに乗って出掛けて参加し、短いステージではありましたが独特の緊張感を味わうことが出来て、いい勉強になりました。

それに味をしめて、今年も一般B部門で無事岡山県大会を通過し、岡山シンフォニーホールで開かれた同コンクールに出場しました。その節は県合唱連盟加盟団体の皆様には大変お世話になりました。この稿をお借りして御礼申し上げます。

同コンクールに我が団の選んだ自由曲は、今年の定期演奏会のラストステージに歌ったヴィヴァルディのグロリアの中の四曲でした。

中村芳弘先生の指揮、三宅忠子さんの伴奏で、全員一生懸命に歌い、暗譜で何とか大きな失敗もなく歌え

たと思っただけですが、審査結果は昨年と同じ銅賞でありました。ソプラノ十二、アルト十八、テノール五、バス七が当日のメンバーの数でしたが、このバランスの悪さがドウしようもないナマリに近い銅賞となった最大要因であろうと反省しています。

来年は五月一日から五日にかけて岡山空港から中国大陸は洛陽市へ、親善演奏旅行に出掛ける計画が進んでいます。これを契機に特に男声陣の大幅増強を目標にして、名実ともにより充実した合唱団を目指して頑張りたいと思っております。

毎週水曜日の午後六時半から二時間、天神町のカトリック教会信徒館へ是非お越し下さい。(H)

コール・ココ

十月四日の中国合唱コンクールを終えて一ヶ月。コール・ココにも和やかに歌を歌う練習が戻ってきた。「せっかく岡山であるんだから出て見ようよ。」なんていう軽いノリで出場を目指した中国合唱コンクールだが、そのためには岡山県合唱コンクールをクリアしなければならぬ。例年なら子供達が夏休みの間はコール・ココも夏休みとなるが、八月二十三日の県コンクールを目指して、夏休み中の子供達を連れて集まり練習に励んだ。

県コンクールで思いがけず最優秀賞をいただいた私達は十月四日の中国コンクールに向かって益々盛り上がりつつあった。

ところが、いざ中国コンクールが近づくと、その日は幼稚園や小学校の運動会が、地区の運動会が等々、

主婦、母親が手を抜けない行事が重なっていることがわかってきた。前日まで一緒に一生懸命練習してきたのに、当日参加できなかった団員が数人いる。とても残念な事だった。中国コンクール出場後の皆の感想は、この数ヶ月合唱一筋で本当にハードだった。でも終わった今、青春時代の様な熱い気持ちで過ごした数ヶ月がとても楽しかった。

そして中国コンクールでレベルの高い演奏を聴き「合唱ってこんなに美しいものなのか。」と改めて感激し、少しでも近づいて行きたい等の声も聞かれた。

とはいえやはりコール・ココはママさんコーラスで、つい二ヶ月前までベビーカーにおとなしく乗っていた幼子が、いまやあちこちと歩き回り、練習もそこそこ追いかける団員の姿がある。

より素晴らしい合唱を求める二十人の女性には、一方で子供を慈しみ育てる母親でもある。これからも無理のない範囲でより高度な合唱を求め心豊かに楽しく歌ってゆきたい。

(藤森久枝)

山陽女子高等学校コーラス部

十月三日、とうとう中国大会の日が来てしまいました。私達部員の内心はまだまだ不安でいっぱいだったと思います。夏休みの厳しい練習にも耐えて一生懸命やってきましたから、今日は私達の最高の演奏、満足できる演奏をしようと心に決め、ステージへ出て行きました。

何回か立ったことのあるシンフォニーホールのステージなのにいつもよりとても大きく感じられました。

この素晴らしいホールで演奏できる感動に、今まで一生懸命やってきた練習の思い出が走馬灯のように頭の中を駆け巡り、歌うこと、ステージに立つこと、素晴らしいさを改めて感じた様に思いました。(近藤 麗)

岡山県立倉敷中央高等学校合唱部

去る十月三日・四日、岡山シンフォニーホールにて中国合唱コンクールが開催されました。

昨年の全国大会に引き続き、事務局をはじめとする関係者の方々には大変なご苦労もあつたのでは、と思えます。お疲れ様でございました。さて、あの美しいステージで歌わせていただくのは、昨年のフェスティバルに続いてこれで二回目となりました。生徒共々コンクールの日を楽しみに、また緊張しつつ練習を重ねておりました。

また、このステージを最後に三年生部員が引退するということもあり、練習にも一段と熱が入ったように思えます。コンクール当日も伸び伸びと気持ちよく歌えたようで、歌い終えた後の生徒達の清々しい顔が印象的でした。

何はさておき、高度な技術を持つ他の合唱団の歌声が次々と周辺に聴けたことで、自らを省みると同時に「いつかは私達も・・・」と意欲に燃えたようでした。

また誘導をしてくださった方の対応も大変穏やかで、気持ち良くステージで演奏することが出来ました。

まだまだ未熟な合唱部ではありますが、今後とも努力を惜しまず歌い続けてくれたら、と思っております。

どうぞよろしくお願ひ申しあげます。(白神 祐子)

岡山県立玉島高等学校合唱部

十月十日、私は期待と不安を胸に抱き、かなり緊張した面持ちでシンフォニーホールへ向かった。

今年が三年生である私にとって最後の中国コンクールであることもあり、また「県コンクールで最優秀賞」と全日本理事長賞をいただいたのだから、ひよっとしたら今年こそは「という思いが交じりあって、いやがうえにも緊張が増した。

しかし舞台上立ってしまふとそんな緊張も消えてしまい、ただいい歌を歌いたいという思いだけが繰り返り頭の中をグルグルと回っていた。歌い終わったときには満足感と感動で思わず涙がこぼれた。

結果としては銅賞に終わった。悔しくないと言えは嘘になる。しかし歌い終わったときに胸に沸き上がったあの感動は、金賞以上の重みがあると思う。(西崎 瑞穂)

この三年間、勉強と部活動の両立に悩みながらも、今年も三年生の仲間がほとんど退部することなく、十七人もこの舞台上に上がったことも嬉しいことであつた。合唱部は創部三年目という我が校では最も新しい部のためまだ部室がなく、なかなかチムワークを作っていくのに苦労するが、合宿やコンクール等を通して少しづつ部の結束が固まってきたのが感じられる。二年生もほとんど辞めることなく続けるのか。合唱部にも新しい流れが見えてきたようだ。

(田中 浩)

コ ン サ ー ト 情 報

◇岡山大学グリークラブ 第39回定期演奏会

と き : 平成4年12月12日(土) 午後6時半開演
 と ころ : 岡山シンフォニーホール
 ち け っ と : 前売り券:500円、当日券:700円
 演 奏 曲 : 1)ミサ曲 2)美しいものについて 3)ANNIE 4)深き淵より

◇新見女声合唱団パレット 第3回演奏会

と き : 平成4年12月13日(日) 午後2時開演
 と ころ : 新見市民会館
 ち け っ と : 500円
 演 奏 曲 : 1)東北地方のわらべうた 2)ちっちゃなクリスマス 3)光のとおりみち
 こ め ん と : 楽しい企画ステージ、しっとりとした童歌、盛り沢山のステージです。

◇岡山理科大学混声合唱団クリスタルコール 第16回定期演奏会

と き : 平成4年12月19日(土) 午後6時半開演
 と ころ : 三木記念ホール
 ち け っ と : 500円
 演 奏 曲 : 1)愛の賛歌他 2)筑後川 3)小さな日 4)蔵王

◇ノートルダム清心女子大学グリークラブ 第29回定期演奏会

と き : 平成5年1月10日(日) 午後3時開演
 と ころ : 岡山市市民会館
 ち け っ と : 500円
 演 奏 曲 : 1)ブリテンの宗教曲 2)東北地方のわらべうた 3)マザーグース
 4)花の四季より
 こ め ん と : 良い席はお早めにね。

◇岡山大学男声合唱団コールロークス 第32回定期演奏会

と き : 平成5年1月16日(土) 午後6時半開演
 と ころ : 岡山市市民会館
 ち け っ と : 500円
 演 奏 曲 : 1)海鳥の歌 2)やさしい魚 3)Negro Spirituals
 4)わがふるき日のうた
 こ め ん と : 老若男女の皆様、お誘い合わせの上是非お越し下さい。
 あなたのために歌います。

◇中国短期大学フラウエンコール 第25回定期演奏会

と き : 平成5年1月23日(土) 午後6時半開演
 と ころ : 岡山市立市民文化ホール
 ち け っ と : 500円
 演 奏 曲 : 1)ミサ曲 2)Dream World(H.Miyazaki) 3)落葉松

◇作陽音楽大学女声合唱団 第19回定期演奏会

と き : 平成5年1月24日(日) 午後2時開演
 と ころ : 聖徳殿(学内)
 ち け っ と : 300円
 演 奏 曲 : 1)ワグネルの二重唱曲集から 2)Sound of Musicより
 3)出雲街道 二部 4)出雲街道 三部
 こ め ん と : 前回からの山田先生、矢内先生の委嘱作品「出雲街道」の大社町から津山までの全21曲を発表します。

◇女声合唱団 岡山なでしこ ニューイヤーコンサート

と き : 平成5年1月30日(土) 午後2時開演
 と ころ : 岡山西川アイプラザ 5階ホール
 ち け っ と : 1,000円